

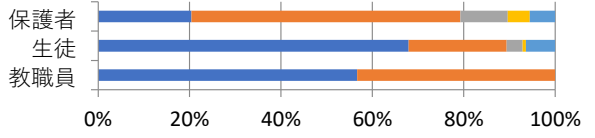
令和4年度 学校評価

■ そう思う
 ■ どちらかといえば、そう思う
 ■ どちらかといえば、そう思わない
 ■ そう思わない
 ■ わからない

①いのちを大切にする心の教育の充実といじめや不登校への細やかな対応

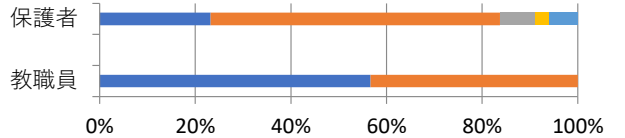
1 一人一人の児童生徒の尊重

学校は、一人一人の子どもを大切にしたい指導や対応ができていますか。



2 道徳・心の教育の充実

学校は、豊かな人間性を育む心の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）

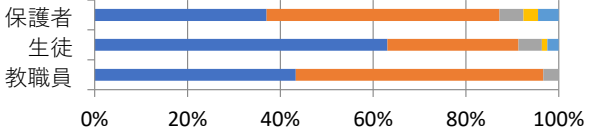


○児童一人一人を大切にしているかについては、概ね肯定的であるが、保護者の15%が厳しい見方をしており、昨年より増加している。個に応じた教育ができるよう、指導法の改善が必要である。○心の教育についてもほぼ肯定的な見方であるが、保護者の方が評価が厳しく、学んだことが活きるよう、家庭や地域との連携がさらに必要である。

②確かな学力の向上と社会の変化に対応した教育の推進

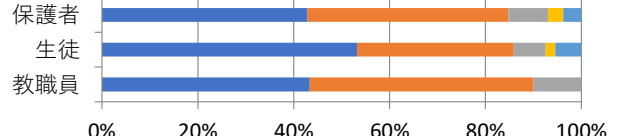
3 授業力向上

先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。



4 タブレット端末活用

子どもは、タブレット端末を活用して学習していると思いますか。

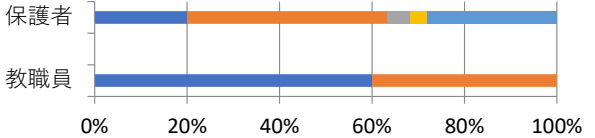


○授業に関しては85%以上が肯定的にとらえている。特に児童の65%が非常に肯定的であるが、学力調査の結果と一致していないところがあり、精査が必要である。○タブレット端末の利用についても、全て80%以上肯定的であるが、保護者に3%、児童に2%「全く学習していない」があり、指導法や使用方法の改善がさらに求められる。

③教員が子どもと向き合うための体制の整備

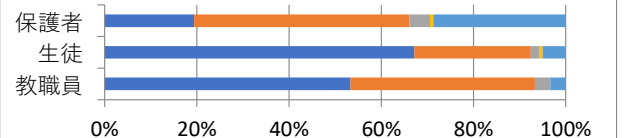
5 学校の支援体制

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。



6 共生社会を担う人材の育成

学校が行っている「交流及び共同学習」等は、相互理解につながっていると思いますか。



○保護者と教職員との間に大きな意識の差が見られた。「個に応じた支援」について28%の保護者が「分からない」と答えたのは、個に応じた支援が地域や保護者に理解されるほど浸透していないことを表す。また「交流及び共同学習」の推進も児理解されるほどには推進されていないことを表し、保護者を含めた地域への啓発、理解が必要である。

④ 学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進

7 安全と事故防止	8 家庭や地域との連携協力
学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。	学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。
<p>保護者 生徒 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<p>保護者 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>
<p>○安全と事故防止については、月1回の安全点検を行い、施設不備による事故はないが、遊び方など、生活の中での安全教育が徹底せず、怪我などが多く見られており、対策の工夫が求められる。○コロナ禍の中での家庭や地域との連携を模索してきたが、保護者の16%が十分でないと感じている。今後社会に開かれた教育を工夫しながら実践を進めていく必要がある。</p>	

④ 学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進	
9 学校独自1	10 学校独自2
学校や家庭で進んで感謝の言葉「ありがとう」が言えていると思いますか。	あなたは、（保護者の場合はお子さんは）人の話を最後まできちんと聴くことができていると思いますか。
<p>保護者 生徒 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<p>保護者 生徒 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>
<p>○感謝の思いを言動に表すことは、80%以上がある程度できていると感じているが、保護者の12%が厳しい評価となった。学校での学びを生活の中でもできるように、学習の日常化が図られるような取組が必要である。○聴く姿勢は、教職員、児童に比べ保護者は厳しい評価であった。話を聴くよさを授業を通してさらに実感させる必要がある。</p>	

来年度の具体的な取組について

- 教育目標の具現化をより一層図るとともに、感染予防を意識しながらも、授業参観、学校行事等を通して、保護者や地域住民と連携した教育の推進を図る。
- 個に応じた支援のありかたや交流、共生の教育について、保護者への啓発、理解を一層図る必要がある。
- 同時に、対話を重視した児童自身が学び取る授業への変換、そのための授業力の向上を図る。
- モラル、ルールを重視し、学ぶ姿勢を育てる取組。自己尊重の意識を高め、命を大切にする教育を進めていく。
- タブレットを用いた教科指導や家庭学習の工夫、個に応じた教育の推進と共に教師の仕事の効率化も目指す。
- ウィズコロナの意識を高め、継続した感染予防と衛生観念を高める取組（保健指導、食育等）を進める。

学校関係者評価

- 授業参観の参加率などを見ても、保護者が学校の教育に対し高い関心を寄せ、学校に好意的であることが見て取れる。登下校の見守り隊に対してもはきはきとあいさつをする姿が見られ、明るく素直な児童が育っていると感じる。教員もタブレットを効果的に使った授業を展開するなど、保護者や地域の期待に応えようとする姿が見られる。
- 自転車乗りや、公園の使い方など、公共のルール、マナーが守れている児童とそうでない児童がいる。学校と地域と連携を強化し、命を守る意識を高める教育を推進して行ってほしい。

学校評議員評価（4段階評価における平均値）

- | | | | | | | | | | |
|---|------|---|------|---|------|---|------|---|------|
| ① | 3.25 | ② | 3.25 | ③ | 3.67 | ④ | 3.75 | ⑤ | 4.00 |
| ⑥ | 3.00 | ⑦ | 3.75 | ⑧ | 3.75 | ⑨ | 3.00 | ⑩ | 2.67 |